

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41400 救急医療対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人々への投資	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり		
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・保健	市長公約	
					目	4	地域医療対策費			施策分野	(5)	医療・保険		
担当課	医療保健部	医療政策課	内線	2801										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が休日夜間に急病になった時に受診できる医療体制を整え、安心して暮らせるようにする。	概要	・休日診療所の開設(日・祝・年末年始、医科及び歯科) ・在宅当番医制・病院群輪番制病院(久美愛厚生病院、飛騨市民病院)への運営費の補助 ・救命救急センター(高山赤十字病院)への運営費等の助成 ・24時間電話医療相談の実施、「救急安心センターぎふ」の利用勧奨などによる適正な救急医療受診の啓発
----	----------------------------------------------	----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	54.5%		ノ

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
		102,700	102,024	101,811		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(休日診療所使用料、保健衛生費受託事業収入等)	34,274	32,082	35,554		
一般財源		68,426	69,942	66,257		
新規・拡充	主な事業内容					
	休日診療所の運営	17,819	17,412	16,865		
	24時間電話医療相談	1,620	1,610	1,620		
	在宅当番医制・病院群輪番制病院運営費助成	41,977	41,751	42,048		
	救命救急センター運営費等助成	40,000	40,000	40,000		
	救急安心センター運営負担金	1,152	1,145	1,093		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・休日診療所開設状況 医科(70日開設) 利用者数:978人 歯科(53日開設) 利用者数:108人 ・救急医療機関(二次・三次)運営に対する助成 ・#7119救急安心センターぎふ電話相談件数 514件 ・24時間電話医療相談の相談利用数 2,773件
評価等	・休日診療所の開設により、市内中核病院の救急外来の負担軽減を図ることができた。 ・24時間電話医療相談事業および#7119救急安心センターぎふの実施により、市民の健康不安の解消を支援し、救急医療の適正利用の普及啓発を図ることができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	<div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</div> <div><input type="checkbox"/> 拡大</div> <div><input type="checkbox"/> 縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 廃止検討</div> <div><input type="checkbox"/> R6完了</div> <div><input type="checkbox"/> R7完了予定</div> <div>・救急医療の確保および適正利用の普及を継続して実施する。</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善</div> <div><input type="checkbox"/> 拡大</div> <div><input type="checkbox"/> 縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 廃止検討</div> <div><input type="checkbox"/> R7完了</div> <div><input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	101,900
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
102,973			1,162
35,648			94
67,325			1,068
要求額	説明		
18,093			
1,611			
42,048			
40,000			
1,091			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・安心、安全な市民生活の維持のため、市内の医療機関等に一次から三次の救急医療提供体制を構築するための予算を計上
---------------------	---------------------------------------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41410 医療確保等支援事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人々への投資	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
						款	4	衛生費			ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり		
						項	1	保健衛生費		分野別		政策分野	1	福祉・医療・保健	市長公約
						目	4	地域医療対策費			施策分野	(5)	医療・保険		
担当課	医療保健部 医療政策課			内線	2801										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が良質で適正な医療サービスを受けることができるよう医療体制の確保と充実を図る。	概要	・市内中核病院の医学生から指導医までに対する切れ目のない支援、就労・医療環境の整備、診療機能の維持等に対する助成
----	--------------------------------------------	----	----------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	54.5%		↑

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		364,426	350,539	263,453			
特定財源	国費 (医療機関等運営支援事業費 10/10、デジタル田園都市国家構想交付金1/2)	53,000	52,935				
	県費 (地域医療確保事業費 1/2)	17,690	15,376	17,410			
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、寄附金)	33,000	52,200	10,000			
一般財源		260,736	230,028	236,043			
新規・拡充	主な事業内容						
	医師確保及び教育支援等に対する助成	159,282	153,112	166,890			
	病院設備整備に対する助成	58,665	55,453	58,493			
	ICTを活用した医療DX推進事業	108,000	105,870				
	医師育成支援補助金(医学生から中堅までの継続育成)	2,740	2,440	2,530			
	中核病院との医療人材教育に関する連携の強化	30,000	30,000	30,000			
○	飛騨地域の周産期医療の強化						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成 ・岐阜大学医学部「地域医療コース」在校生7名、新入生2名の修学資金を支援 ・飛騨医療圏の医療体制を安定的に維持するため、市内2か所の中核病院と3者連携協定を締結 ・地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)を開設 ・市内中核病院と高度医療機関をつなぎ、遠隔により手術支援や医療教育を受けられる環境を整備
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後もより多くの学生への利用促進を図る。 ・研修医確保を目的とした2会場のガイダンスへ、市内2か所の中核病院と連携して出展できた。 ・飛騨で唯一のPET-CT装置(がんの転移の状況等を診断する際に必要な検査機器)の更新により、診療がスムーズに行えるようになった。 ・市内中核病院及び岐阜大学等に医療情報共有システムや遠隔手術支援システムを導入支援したこと、高度医療機関との連携が図られ、市内病院で診療を完結させる一助となった。
次年度以降の考え方(担当課)	・市内中核病院の医療体制の支援については、ヒアリング等を実施しながら、実態に応じた助成を行う。 ・将来の医師確保へ向けて、引き続き「地域医療コース」の新規入学生及び在校生の修学を支援する。 ・大学医学部と締結した協定等に基づき、市内医療機関をフィールドとした医学生の実習やセミナーの開催を支援し、将来の定着を目指した人材育成をすすめる。 ・地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)を実施する。 <div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	263,500
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
286,060			22,607
19,333			1,923
			△ 10,000
266,727			30,684
要求額	説明		
170,990			
58,493	手術支援ロボット導入に対する助成ほか		
2,530			
30,000	地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)		
18,390	地域周産期医学寄附講座(岐阜大学)		

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・3者医療連携協定に基づいた医療人材育成の環境整備や医療DXの推進等、地域医療提供体制の安定を図るために必要な経費を計上 ・地域周産期医学寄附講座に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定の考え方	